

4  
9

森林公園に親しみを

## 絵本「もりのひみつきち」贈呈式



一般社団法人森林公園地域振興会が制作した絵本「もりのひみつきち～ぼくらのたいせつなばしょ～」が町へ寄贈され、4月9日に町役場で贈呈式が行われました。

この絵本は、石川県森林公園開園50周年を記念して制作されたもので、園内の屋内木育施設「もりのひみつきち」のマスコットキャラクター「はっぱのもりきちくん」と「はっぱのもりみちゃん」が、公園職員と協力し、豪雨被害からの復旧に取り組む物語となっています。

贈呈式では、同振興会の坂本守理事長が「この絵本が森林公園の歩みとともに、子どもたちの心に優しく残る一冊となることを願っている。多くの方に手に取っていただき、森林公園に足を運ぶきっかけになってほしい」と期待を寄せると、矢田町長は「寄贈いただき大変嬉しく思う。多くの子どもの目に留まる絵本になってほしい」と感謝の意を述べました。

絵本は今後、町内のこども園や小中学校、図書館などに配付される予定です。



寄贈された絵本



このコーナーでは、町のニュースや地域のイベントなど、町の話をお伝えしていきます。

5

## 広報つばた

### CONTENTS

- 02 第七代津幡町長 吉田克也氏 就任
- 03 津幡町長選挙 開票結果
- 04 津幡町合併70周年記念式典
- 06 防災イベント
- 08 まちのNEWS!
- 10 暮らしの情報
- 21 「防災気象情報」が大きく変わります
- 22 屋根工事の点検商法に注意
- 23 友だちリレー、Cook Do どう？
- 24 図書館へおいでよ
- 25 つばた空港、こども科学館
- 26 ケーブルテレビ番組表
- 27 赤ひげ通信、文芸
- 28 手話、フィットネス、QUIZ
- 29 慶弔だより
- 31 こどもの広場
- 33 ごみ収集ごよみ、休日当番医ほか
- 35 イベントカレンダー

### 今月の表紙



### 倶利伽羅さん八重桜まつり

今月の表紙は、4月17日に倶利伽羅不動寺山頂本堂で行われた倶利伽羅さん八重桜まつり「厄除け念仏赤餅つき」の様子です。

この赤餅は、旅人に悪さをする猿に赤く染めた餅を与えたところおとなしくなったという伝説に由来するもので、念仏を唱えながらついた赤餅には、疫災を追い払う力があるとされています。

倶利伽羅不動寺の五十嵐住職が「懺悔・懺悔・六根清浄」と唱えるなか、白装束姿のつき手が杵をふるい、力強く赤餅をつきあげました。(北方)

4/16

おめでとうございます

## 米田 順子さん 百寿

4月15日に100歳の誕生日を迎えた米田順子さん（清水）のもとを4月16日に矢田町長が訪れ、長寿を祝福するとともに、記念品を進呈しました。

ご家族が見守る中、矢田町長からお祝いの言葉を受けられた米田さんは、笑顔で感謝の言葉を伝えられました。

米田さんは、手芸がお好きで、布で小物入れやひな飾りなどを作って、友人や施設にプレゼントしていました。また、その日感じたことを俳句にして楽しんでいました。好きなことを目一杯楽しむことが、健康の秘訣だご家族の方は話してくださいました。

これからもお元気で過ごしてください。



3/28

親子で音楽をたのしもう

## ガルちゃんとリトミック

5月の大型連休に開催される「ガルガンチュア音楽祭」のキッズプログラム「ガルちゃんとリトミック in つばた」が3月28日にシグナスで開催され、約300人が来場しました。

この公演は、幼児とその家族を対象にしたリトミックコンサートで、音楽に合わせて手を叩いたり、体を動かしながら、体全体で音楽を楽しみました。

新平衣里さんの歌、谷口直美さんのリトミック、沢芹菜さんのピアノにより、子どもたちに人気の曲が披露されました。また、公式キャラクターのガルガンちゃんも登場し、会場のみinnで一緒に踊りながらコンサートを盛り上げました。

4/17

スマートフォンの使い方を学ぶ

## 津幡町スマホ教室

津幡町スマホ教室が4月17日に英田公民館で行われました。この教室は、デジタル機器に不慣れなことによる情報格差を解消するため、株式会社アイ・ビ・ケアマーケティングの協力のもと開催しています。

講師の神野真帆さんから、会社の事業説明と現代におけるスマートフォンの有用性が説明された後、受講者が実際にスマートフォンを操作し、LINEの基本的な操作や設定方法、町公式LINEの友だち登録、知りたい情報を選択するための受信設定などを行いました。

この教室は、町内9つの公民館と町福祉センターで順次開催予定です。



4/10

幸せを呼ぶ鳥「コウノトリ」

## 4年連続でふ化

国の天然記念物であるコウノトリのひな複数羽が、河北潟干拓地の人工巣塔でふ化しました。コウノトリは一度営巣した場所で毎年子育てをする習性があり、令和5年から4年連続でひなが誕生しています。

河北潟で子育てをしているコウノトリの夫婦は、大陸から飛来したとされる雄の「コウタ（幸多）」と、兵庫県で生まれた雌の「コウリ（幸里）」です。令和4年から営巣しており、令和6年には「津幡鳥民」として特別住民票が交付されたとともに、「津幡町定住促進特使」に委嘱されました。

親鳥とひなの映像は、津幡町公式YouTubeチャンネルで6月末頃まで配信中です。